

力強く生きるアフリカの人々の姿から 平和を考えるパネル展を開催

国際協力機構 中部センター(JICA 中部)が運営するなごや地球ひろばにおいて、パネル展「力強く輝き、願う—優雅な装いに秘めた美学と平和—」の開催を開始いたします。

本パネル展は、来年2019年のTICAD7(第7回アフリカ開発会議)の開催に先立ち、アフリカに焦点を当て、コンゴ共和国及びコンゴ民主共和国(以下、両国含めて「コンゴ」)にて、武器を持たずファッションを通して平和を願う SAPEUR(サプール)の様子と国際協力の現場の様子を組み合わせた内容になります。

サプールは、月収の何倍もするエレガントなスーツに身を包み、コンゴの街中を歩く人々です。サプールの魅力は装いの美しさだけでなく、教養を身に着け精神的に豊かである、その生き方にあります。幾度も内戦を経験し、厳しい状況をくぐり抜けてきた

コンゴのサプールたちには、「サプールは世の中が平和だからこそできること」という言葉があります。また、コンゴ民主共和国は、ノーベル平和賞を受賞予定のデニ・ムクウェゲ医師が活動する国でもあります。

JICA は、長年にわたり、コンゴを含めたアフリカ各国において、教育、保健、農業等のさまざまな分野で開発協力を継続しており、JICA が事業を実施しているアフリカ諸国の人々の前向きに学び、働き、生きる姿を、サプールの鮮やかな色彩のパネルとともに展示いたします。

さらに、併設するカフェ クロスロードでは、中部地域では食べる機会の少ないコンゴ料理『リボケ』(白身魚、海老、野菜をバナナの皮に巻いて蒸した料理)を期間限定で特別にご提供します。

是非この機会にご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。



なごや地球ひろばは、体験型で学べる展示スペース（体験ゾーン）、世界各国から仕入れたフェアトレードの食品や雑貨を購入できるフェアトレードショップ（買物ゾーン）、主に開発途上国の味が楽しめるグローバルなカフェレストラン（食のゾーン）、参加型イベントやセミナーなどを随時開催している活動ゾーンなどを備え、様々な体験を通して国際協力について楽しく学べる施設です。

【展示概要】

展示期間：2018年11月7日(水)～2019年3月3日(日)

開始時間：10:00-18:00 入場：無料

休館日：月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館日）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部連携推進課 青木・後藤

TEL：052-533-0220（代表） e-mail：cbictpp@jica.go.jp